2026 年 10 月 13 日
みんな生きる皆生 実行委員会

報道関係各位

湯あがりを、灯りがつなぐ　かいけの夜。
冬の皆生温泉で「ゆあがり、あかり、かいけ」2027 年2月5日より開催

鳥取県西部の竹が1000本の灯りとなり、松林へ還る。
地域の自然循環とともにつくる冬の 10 日間



『みんな生きる皆生 実行委員会（事務局：鳥取県米子市皆生温泉3-1-1（皆生温泉旅館組合内）、委員長：伊坂明）』は、2027 年 2 月 5 日（金）から 2 月 14 日（日）まで、鳥取県米子市・皆生温泉を舞台に、冬季イベント「ゆあがり、あかり、かいけ」を開催します。本イベントは、湯あがり後に温泉街へ出て、灯り・音楽・食・まち歩きを楽しむ時間をつくることで、冬の皆生温泉での滞在価値を高める取り組みで、米子市観光センターでの JAZZ ライブ、地域参加型のダンス企画、まちの既存店舗との連携なども予定しています。あわせて、鳥取県西部の竹林から切り出した竹を約 1,000 本の竹灯籠として活用し、会期終了後はチップ化して皆生温泉の松林の土壌改良に生かすなど、開催の準備から実施、会期後まで地域の自然循環につなげることも大きな特徴です。また、温泉情緒を感じさせる和傘の灯り演出なども一体的にまちを彩ります。さらに、アソビ JTB による「KAWAII 夜市」も同時開催で予定しています。湯あがりのまち歩きの中で、灯りや音楽、人との出会い、そして皆生を支える自然のつながりに触れながら、冬の皆生ならではの夜をお楽しみください。

冬の滞在体験を、地域の自然とともにつくる

皆生温泉では、冬季の宿泊需要の創出と、夕方以降の温泉街回遊の促進を課題のひとつとして、温泉街全体で楽しめる滞在コンテンツづくりを進めています。「ゆあがり、あかり、かいけ」は、灯りそのものを鑑賞するイベントではなく、温泉に入ったあとに自然と外へ出たくなり、歩きたくなり、もう少しこの街で過ごしたくなる――そんな冬の夜の時間をつくることを目指します。単発の集客イベントではなく、旅館・飲食店・地域事業者などと連携しながら、皆生温泉のブランドコンセプト「みんな生きる、皆生」を実際の営みとして積み重ねていく取り組みです。

【開催概要】

イベント名称	ゆあがり、あかり、かいけ
開催期間	2027 年 2 月 5 日（金）～2 月 14 日（日）
点灯時間	16:00～22:00（予定）
開催場所	皆生温泉エリア（四条通、米子市観光センター周辺 ほか）
実施主体	みんな生きる皆生実行委員会
主な内容	竹灯籠による灯りの演出／JAZZ ライブ／地域参加型ダンス企画／飲食・既存店舗連携 ほか

約 1,000 本の竹灯籠。山の竹が、皆生の冬の灯りになり、地域の自然循環に寄与する



灯りのメインエリアは四条通。鳥取県西部の竹林から切り出した竹を活用し、約 1,000 本の竹灯籠を集約して配置する予定です。灯りを街全体に薄く分散させるのではなく、四条通に密度と連続性をつくることで、湯あがり後の夜の主動線を生み出します。

使用した竹は会期終了後、チップ化して皆生温泉の松林の土壌改良材として活用する計画です。翌年度には再び鳥取県西部の竹林から竹を切り出すことで、竹林整備につなげます。山で育った竹が皆生の灯りとなり、役目を終えた後は松林の土へ還る。イベントを継続することそのものが、山・まち・松林・海をつなぐ循環になることを目指しています。

JAZZ、ダンス、食。温泉街を歩くきっかけを夜の各所に

米子市観光センターでは、期間中の週末を中心に JAZZ ライブを開催予定です。また、2 月 11 日(木・祝)には、子どもや地域のダンス団体などが参加する地域参加型の「ダンス DAY」を予定しています。出演団体や実施時間などの詳細は現在調整中です。

また、観光センター前の軒下では、冬のまち歩きの間も温まって頂けるよう、飲食の小規模出店も予定。あくまで大規模な飲食イベントとして完結させるのではなく、皆生温泉内の既存飲食店への回遊につなげる入口として位置づけ、参加店舗との連動も検討しています。

【JAZZ ライブ(予定)】 ※出演者・チケット販売方法等は決定次第お知らせします。

開催日:2027 年 2 月 6 日(土)・7 日(日)・13 日(土)・14 日(日)

会　場:米子市観光センター

時　間:①17:30～18:15　②20:15～21:00(予定)

【ダンス DAY(予定)】 ※実施時間・出演団体等は決定次第お知らせします。

開催日:2027 年 2 月 11 日(木・祝)

会　場:米子市観光センター周辺を基本に調整中

内　容:キッズダンス、地域団体等による地域参加型プログラムを調整中

アソビ JTB による同時開催企画も予定

開催期間中は、「温泉文化」と日本発のポップカルチャー”KAWAII”を融合し新しい温泉体験の価値を提供する『ONSEN KAWAII 夜市』の開催も予定されています。当イベント開催エリア内で同時期開催企画として連携し、皆生温泉の冬の夜を楽しむ体験として演出。実施内容・場所・時間等の詳細は、決定次第お知らせします。

イベントの継続そのものを、皆生温泉のブランディングへ

皆生温泉では、ブランドコンセプト「みんな生きる、皆生」のもと、「海と生きる」「湯と生きる」「人と生きる」という視点から、地域の資源を大切にしながら未来へつなぐ取り組みを進めています。「ゆあがり、あかり、かいけ」は、その考え方を冬の滞在体験として実装するものです。灯り、松林への循環、湯あがりのまち歩き、竹林整備、地域の人や店舗との交流を重ねることで、一過性のイベントではなく、皆生温泉らしい冬の過ごし方として継続・定着させていくことを目指します。

みんな生きる皆生 実行委員会について

本イベントは、「皆生温泉の再生及び活性化に係る連携協定」の参画団体に、一般社団法人カイケラボ、有限会社あっぷるはうすを加えた「みんな生きる皆生 実行委員会」により実施します。各団体の専門性やネットワークを活かしながら、地域一体となって冬季の滞在価値向上と持続的なまちづくりを進めます。

【実行委員会概要】

参画団体：皆生温泉旅館組合、皆生温泉観光株式会社、株式会社山陰合同銀行、株式会社鳥取銀行、米子信用金庫、株式会社商工組合中央金庫、株式会社地域経済活性化支援機構（REVIC）、米子市、一般社団法人カイケラボ、有限会社あっぷるはうす

事務局所在地：〒683-0001 鳥取県米子市皆生温泉3丁目1−1 皆生温泉旅館組合内

実行委員長：伊坂 明

※本リリースに記載する内容は 2026 年 10 月 1 日時点の予定です。各企画の詳細は決定次第、順次お知らせします。

＜報道関係の方からのお問い合わせ先＞

みんな生きる皆生 実行委員会事務局（皆生温泉旅館組合内）

担当：北口　TEL：0859-34-2888